

～農業者同士のネットワーク構築に向けて～

TACの担い手農家に乾杯



★TAC訪問生産者のご紹介★

◎西山支店管内

尾野内集落

小玉 雄太 様

令和元年 栽培品目

- ・ 水稲（コシヒカリ、こしいぶき） 4.7ha
- ・ ニンニク 20a



西山支店管内、尾野内集落の小玉雄太様です。

平成30年から本格的に就農し、尾野内周辺の集落で水稲を栽培しています。

また、耕作放棄地となっていた圃場を開墾しニンニク栽培を始め、今年から出荷も始めます。課題も多くありますが、意欲的に取り組まれており今後の西山地域の担い手として頑張ってくださいと思います。(TAC 片桐)

令和元年 生育調査結果について（6月9日～10日調査）

品種 こしいぶき

【柏崎地域 平場】6地点平均

項目	指標値	計測値
草丈	27	31.1 cm
莖数	260	412本/m ²
葉数	7.2	7.8枚
葉色	39.0	43.0

【小国地域】1地点（法坂地区）

項目	指標値	計測値
草丈	29	29.4 cm
莖数	240	399.8本/m ²
葉数	7.0	8.3枚
葉色	42	48.0

品種 コシヒカリBL

【柏崎地域、刈羽地域 平場】6地点平均

項目	指標値	計測値
草丈	30	30.0 cm
莖数	210	211.2本/m ²
葉数	6.8	6.6枚
葉色	36.0	36.6

【小国地域】6地点平均

項目	指標値	計測値
草丈	30	27.8 cm
莖数	200	177.7本/m ²
葉数	6.5	6.9枚
葉色	36	36.1

品種 葉月みのり

【柏崎地域、刈羽地域 平場】7地点平均

項目	指標値	計測値
草丈	40	39.0 cm
莖数	350	359.5本/m ²
葉数	7.8	8.2枚
葉色	41.0	39.7

※葉色はSPAD値です。

気温が高く、草丈、莖数とも大きい状況です！！

田植え後1ヶ月での中干しを確実に実施して下さい。
莖数が過剰になっています。

今後の管理のポイント

莖数は十分に確保できています。
中干しをきっちりと行うことが第一です。
中干しは出穂の1ヶ月前には終了して下さい。
中干しにより根・莖を丈夫にすることで草丈が
伸長しても倒さない稲作りを行いましょう！！

今後、葉色の推移を注視して今から穂肥の準備
をお願いします。

中干し後は一発除草剤の効果が薄れ雑草が発生しやすい環境となります。
圃場をこまめに見回り、雑草が小さいうちに薬剤防除をお願いします。

※今年は新潟県内梅雨入りが平年より5日早い状況です。遅れずに中干しを

★今年度もTAC農業所得20%アップ2020活動を実践します。★

☆ 目標収量を設定し、達成に向け準備とその行動を実施しましょう ☆

6月～7月、TAC 重点行動

道のり その①

収量の構成を考えましょう。(収量構成要素)

収量 (kg/10a) =

穂数 (本/m²) × 一穂もみ数 (粒) × 登熟歩合 (%) × 千粒重 (g/1,000粒)

わかりやすく一言で表現しますと“適正な茎の数でついた粒がよく実れば標準的な収量はとれる”ということです。

目標収量 10 俵 (600kg) =

440 本/m² × 70 粒 × 90% × 0.022 kg

収穫時に一株、440 本/m²の穂数を確保する事が目標となります。

目標穂数 60 株植えて一株 24 本程度となります。

こしいぶき10俵どりの
適正穂数を目指す。

計画的な穂肥の実施が
目標収量達成の必須作業
です。

道のり その②

目標収量達成に向けての実行内容

最重要： 確実な中干し、溝切りの実施と終了後の飽水管理の継続、

日々の稲の生育を観察し、圃場ごとの穂肥の計画をたて実行する。

(1) 確実な中干し、溝切りの実施、終了後の飽水管理の継続 (水)

①中干しの効果

水を張りっぱなしですと土中にガスが溜まり生育を阻害します。

中干しでガス抜きと酸素供給で根の張りが良好になり、地力窒素も発現します。

②溝切りの効果

圃場の水管理が容易になります。(入排水の迅速化)

必要最小限での水管理の徹底。(飽水管理の徹底)

③中干し終了後の飽水管理の継続 (水)。

穂ばらみ期(出穂の10～7日前)から出穂期にかけて稲体の水分蒸散量は最大となり、酸素の消費量も最大となるので、この時期は土壌が水分不足にならないように、また酸素供給も兼ねて、適切な水管理をお願いします。(未熟粒発生の原因)

次ページの穂形成期以降は水が必要になります。今後の生育の状況で変化します。

(品種別 幼穂形成期、施肥窒素量の目安) 次ページに続きます。

品 種	幼穂形成期 (右記出穂期の25日前)	平年出穂期	元肥+穂肥トータル 窒素量目安 (kg)	うち穂肥窒素量 (kg)
葉月みのり	6月22日～	7月16日	6.6～7.8	3.0
越路早生	6月26日～	7月20日	4.0～5.0	2.0～2.5
新潟次郎	6月24日～	7月18日	12.0～13.0	5.5～7.0
ゆきん子舞	7月 1日～	7月25日	13.0～15.0	6.0～8.3
こしいぶき	7月 3日～	7月28日	6.5～7.0	3.0～3.5
コシヒカリBL	7月12日～	8月 5日	5.0	2.0～2.4
新之助	7月17日～	8月10日	5.5～6.0	2.5～3.0
あきだわら	7月22日～	8月15日	12.0～13.5	6.0～8.0

(2) 穂肥実施前の計画、遅れないように実行。(栄養確保)

茎数が過剰な状況になった場合、籾同士の栄養の競合がおこります。出穂日を予想し、1回目、2回目の穂肥計画をたて、栄養状態をみながら穂肥の確実な実行をお願いします。

品 種	田植基準日	出穂期 平年値	1回目穂肥 (出穂前 日数)	2回目穂肥 (出穂前 日数)	使用肥料 (例)	肥料ごとの10a当たり穂肥 施肥量
葉月みのり	4月25日	7月16日	6月24日 (23日前)	7月3日 (13日前)	穂肥520号	1回目：10kg、2回目10kg
越路早生	4月22日	7月20日	7月2日 (18日前)	7月10日 (10日前)	穂肥520号	1回目：7kg、2回目7～10kg
新潟次郎	5月3日	7月18日	6月23日 (25日前)	7月4日 (14日前)	塩安	1回目：12kg、2回目12kg
					尿素	1回目：7kg、2回目7kg
ゆきん子舞	5月5日	7月25日	7月1日 (25日前)	7月11日 (14日前)	穂肥520号	1回目：20kg 2回目：20kg
こしいぶき	5月5日	7月24日	7月5日 (23日前)	7月14日 (14日前)	穂肥520号	1回目：10kg、2回目：10kg
コシヒカリBL	5月10日	8月5日	7月15日 (21日前)	7月23日 (13日前)	越後の輝き 穂肥	1回目：8～12kg、2回目：8～ 12kg
新之助	5月15日	8月10日	7月21日 (21日前)	7月30日 (12日前)	穂肥520号	1回目：10kg 2回目：10kg
あきだわら	5月5日	8月15日	7月22日 (25日前)	8月1日 (14日前)	穂肥520号	1回目：20kg 2回目：20kg

※上記は分施肥体系（元肥+穂肥）での施肥量の目安です。一発肥料の場合は品種別のトータル窒素量を計算し、葉色の状況を観察しながら穂肥の計画をたてましょう。2回目の穂肥時期には一発肥料であっても確実に施用できる稲作管理をお願いします。

お問い合わせ先 営農指導課 TEL0257-21-2095

TAC担当 青柳秀樹 携帯090-2335-0203 東部田尻支店（北条地域）、高柳支店、小国支店担当

TAC担当 飯田敏樹 携帯090-5751-4558 中央柏崎支店・南部高田支店担当

TAC担当 片桐智徳 携帯090-2443-1497 刈羽支店・西山支店

TAC担当 飯塚 透 携帯090-2443-7062 東部田尻支店（田尻・中鯖石・南鯖石地域）、北部西中通支店担当